

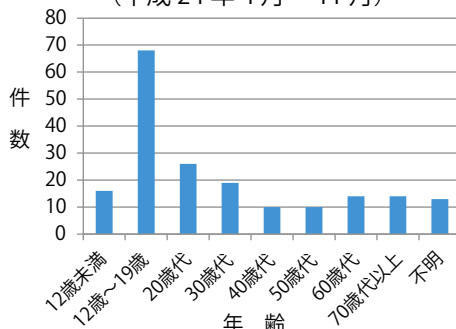
駐輪ルールも守ろう

自転車は、必ず駐輪場に止めましょう。歩道などに放置すると、歩行者の通行の妨げになるだけでなく、車いすの方や目の不自由な方が、安全に通行できなくなります。



手稲区内の年齢別自転車事故件数

(平成 24 年 4 月～ 11 月)



区内での年齢別の事故件数を見ると、12歳～19歳が最も多くなっています（左のグラフ参照）。
子どもの頃から正しい交通ルールを学び、安全運転を心掛けることが大切です。

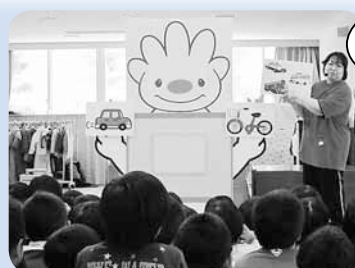
交通安全への取り組み

区内で行われている、交通安全教育の取り組みを一部紹介します。

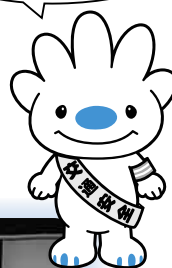
交通安全運動推進委員会の取り組み

交通事故撲滅のために日々活動する手稲区交通安全運動推進委員会。

交通事故に遭わないように正しい交通ルールを身に付けてもらおうと、幼稚園や小学校、老人クラブなどを訪問し、毎年決まった時期に交通安全教室を開催しています。



みんなしっかり交通ルールを学んでいるね！



地域と中学校が協同で交通安全教室を実施

平成 24 年 7 月 5 日、安全・安心なまちづくりへの取り組みの一環として、稲積安全・安心まちづくり協議会と稲積中学校が協同で生徒や保護者、地域住民などを対象に自転車交通安全教室を開催。生徒らは警察署員の講話を聴いたり、交通安全教育用の DVD を視聴したりして、区内で発生した自転車事故の事例や自転車を運転する際の注意点などを学びました。



サイクルセーフティラリー・イン・ていね

毎年 5 月 1 日～ 10 月 31 日に区内の大学・高校を対象とした自転車の交通安全活動を実施。手稲警察署による自転車の交通指導や交通安全教室を行い、期間終了後に事故の発生状況や交通指導件数などを集計して優秀校を表彰します。

平成 17 年から続けられており、平成 24 年度は札幌稲雲高校が優秀校に輝きました。



点検のポイント

自転車の整備不良による事故を防ぐには、日常の安全点検が大切です

自転車に乗る前は、不具合がないかチェックしましょう。また、年に 1 回は自転車安全整備店で点検・整備を受けましょう。



ブレーキ	前輪と後輪それぞれにブレーキをかけてみて、利き具合を確認。
タイヤ	適量の空気が入っているか、すり減ったり傷が付いたりしていないか確認。
サドル	体に合った高さでしっかり固定されているか確認。
ライト	車や歩行者に自分の存在を知らせるためにも明るく点灯するか確認。
反射材	割れたり汚れたりしていないか、また、後方や側方から良く見えるか確認。
ベル	きちんと鳴るか確認。